

■南アルプス・富士川流域エリア



こ ちょう ぜん じ 古長禅寺

高僧・夢窓国師(疎石)が正和5年(1316)に長禅寺として創建、武田信玄の母・大井夫人が菩提寺としたが、信玄が甲府に新たな長禅寺を建立し移したため、こちらは古長禅寺と呼ばれるようになった。

■南アルプス市鮎沢505
■055(282)1278
■重文:木造夢窓国師坐像 国指定天然記念物:ビャクシン 県指定史跡:古長禅寺

古長禅寺の夢窓国師坐像

延文2年(1357)に造られた木造夢窓国師坐像は重要文化財。拝観には予約が必要。寺には国師手植えのビャクシン、国師作の心字池がある。



ち ょう こ く じ 長谷寺

天平年間(729~748)、行基により奈良の長谷寺になぞらえて開創されたという。重厚な造りの観音堂は、今は「本堂」と呼ばれている。本尊の十一面観音菩薩は秘仏だが平成36年(2024)に御開帳される。

■南アルプス市榎原442
■055(285)0072
■重文:本堂附厨子・棟札 県指定文化財:木造十一面観音立像



ほ う ぜん じ 法善寺

大同元年(806)に開創したのち、甲斐源氏・加賀美遠光が再興した。武田氏歴代の祈願所として栄えたが、織田の兵火に多くを失った。平成7年に建立された不動明王堂には、高さ8mの木造不動明王像が安置されている。

■南アルプス市加賀美3509 ■055(282)1693
■重文:紙本墨書大般若經 県指定文化財:鐘楼附銅鐘、板絵僧形八幡神像、絹本着色十六善神像図 ほか5件



で ん し い ん 伝嗣院

創建は文安2年(1445)、永禄7年(1564)に州安派本寺に昇格しおよそ50の末寺をかかえ栄えた。本尊は、聖徳太子が百済王より献上されたという釈迦の仏牙(仏舍利)。参道には石仏群が並ぶ。

■南アルプス市上宮地1424
■055(284)1350
■県指定文化財:紙本墨書大般若經



み ょ う り ょ う じ 妙了寺

正応元年(1288)、真言宗の寺を日蓮宗に改宗した。日蓮宗の中では格式が高く、武田時代には堂塔伽藍34棟を数えた。昭和24年(1949)の大火を免れた経堂には県内唯一の巨大な輪蔵が残されている。

■南アルプス市上市之瀬724
■055(283)4541



じ ょ う お ん じ 長遠寺

建治3年(1277)、真言宗寺院を日蓮宗に改宗し、その後現在地に移転、のちに武田家の家臣・五味長遠が再興した。本尊の十界曼荼羅は、武田信虎が身延山から贈られたものを寺に納めたという。庭園には日本の国土を形どった池もある。

■南アルプス市鏡中条700
■055(282)1503



ほ う じ ゅ じ 宝珠寺

かつて真言宗寺院として栄えた。承安年間(1171~74)、加賀美遠光が再建、遠光の次男・小笠原長清が勧請した大日如来及四波羅密菩薩坐像は他に類を見ない希有な群像で、平成3年に重文に指定された。

■南アルプス市山寺950
■055(284)3680
■重文:木造大日如来及四波羅密菩薩坐像 県指定天然記念物:マツ



しんこういん 深向院

かつて天長年間(824~34)に弘法大師が開いた真言宗寺院とされ、南朝との関わりが深かった。天文年間(1532~54)に曹洞宗に改宗、末寺40を数え隆盛したが、寛政12年(1800)の火災で伽藍を焼失した。

- 南アルプス市宮沢1172
- 055(283)0525
- 県指定文化財:木造釈迦如来坐像



たかおほみじんじゃ 高尾穂見神社

櫛形山の中腹にある。本殿は寛文5年(1665)に再建された、桃山時代の様式が残る江戸初期の建物。雄大で装飾性に富んでいる。社室の懸仏とは銅板に仏像を浮き彫りにし堂内に懸けて礼拝したもの。

- 南アルプス市高尾498
- 県指定文化財:本殿附棟札 懸仏



えばらせんげんじんじゃ 江原浅間神社

日本武尊の父・景行天皇が創建したという。境内に豊富な水源を有し、その恩恵を受けた人々が稲作の神として礼拝した。御神体の女神像は11世紀の作。本殿は桃山時代の作風を残す江戸初期の建築。

- 南アルプス市江原1302
- 重文:木造浅間神像附木造宮殿



しょうふくじ 昌福寺

妙法寺の住職・日伝の弟・日全が永仁6年(1298)に開いた。病床の霊元上皇のため12代住職の日法が参内して加持を行うと上皇は全快、日法に「経王祈禱所」の勅額を与えた。「虫切加持祈禱」には、健やかな子供の成長を願う親たちが集まる。

- 南巨摩郡富士川町青柳483
- 0556(22)0218
- 県指定文化財:鱧口



すわじんじやかみしや 諏訪神社上社

末社に春宮、秋宮、御柱宮などがあり、その構成は信州諏訪大社と同一であり、他の諏訪神社には例がない。さらに御柱祭、穂屋祭、御射山祭が行われていたが、これも諏訪大社との縁が深い。

- 南アルプス市上今諏訪1778
- 県指定文化財:木造菩薩形立像



みょうおうじ 明王寺

宝亀元年(770)、儀丹上人がこの地で修行中、不動明王の霊像が現れ、これを本尊にして開創したという。平安後期には境内3000坪を有し、一帯に無数の坊があった。歴代皇室の庇護を受け、菊花紋章の使用が許された。

- 南巨摩郡富士川町春米2
- 0556(22)1283
- 重文:木造薬師如来立像、鱧口 県指定文化財:不動明王版木



なんめいじ 南明寺

元亨の頃(1321~23)に建てられた庵にはじまる。間口14間の本堂と境内中央の大池が印象的。徳川家康との縁が深く、兜に入れたお守りや、直筆の火の用心札、家康が使ったという2本の太すりこぎが残っている。

- 南巨摩郡富士川町小林2247
- 0556(22)1285

ほうじゅいん 宝寿院

平安から鎌倉期に栄えた巨刹・平塩寺の西塔院が後に真言宗に改宗し宝寿院となった。二度の火災で大伽藍は全焼してしまった。平塩寺で得度した夢窓国師が手がけた庭園がある。

- 西八代都市川三郷町市川大門5711
- 055(272)0716




宝寿院のシダレザクラ
夢窓国師の手植えと伝わるシダレザクラの6代目。樹齢200年。



明王寺の柴灯護摩祈祷

平成12年(2000)に行われた開山1230年祭での柴灯護摩・火渡り行。次の開催は2020年、開山1250年祭の予定という。

P 98 



氷室神社の石段


櫛形山の南面中腹に鎮座する氷室神社。入口の鳥居から575段の石段が延々と続く。

 P104



妙法寺のアジサイ

6月になると境内周辺に植えられた約2万株のアジサイが開花し、「あじさい祭」が開かれる。

 P104



みょう ほう じ 妙法寺

持統天皇7年(693)、役行者が開き、文永11年(1274)、住職・善智法印が日蓮との法論に破れ日蓮宗に改宗。山門ほか大きな建物が木立の中に広がる。日蓮直伝の「小室の毒消秘妙符」は明治の庶民に人気だった。

- 南巨摩郡富士川町小室3063
- 0556(22)0034
- 県指定文化財：金銅金具装笈

P102



さい しょう じ 最勝寺

聖武天皇の勅願で奈良・西大寺の忍正が天平20年(748)に開創したという。2度の火難を免れた観音堂は桃山時代の築造とされる。境内には樹齢300年のサルスベリ、四季に花が咲くというシキザクラがある。

- 南巨摩郡富士川町最勝寺2016
- 県指定文化財：正観音菩薩像版木、鯉口



ひ むろ じん じゃ 氷室神社

宝亀元年(770)の創建と伝わる。武田家代々の崇敬篤く、徳川家康も山林などを寄進している。本殿の裏に御神木の大スギがある。樹皮を取って煎じて飲むと、母乳の出がよくなるという言い伝えがある。

- 南巨摩郡富士川町平林3334
- 県指定天然記念物：大スギ

P101



うわ と じん じゃ 表門神社

式内社の一つとされる。永保元年(1081)、たまたま京都にいた神主が白河天皇の病を癒したことで、空海の筆による「文殊画像」を寄進される。智慧の神様として信仰され、地元では「お文殊さん」と呼ばれる。

- 西八代郡市川三郷町上野2767
- 県指定文化財：石鳥居 県指定天然記念物：コツブガヤ



- 毘沙門天 福寿院 市川三郷町市川大門
- 弁財天 宝寿寺 市川三郷町市川大門
- 福祿寿 宝寿院 市川三郷町市川大門
- 布袋尊 花園院 市川三郷町市川大門
- 恵比寿大神 薬王寺 市川三郷町上野
- 寿老人 不動院 市川三郷町上野
- 大黒天 光勝寺 市川三郷町上野



やく おう じ 薬王寺

天平18年(746)、行基が多聞天像を刻み祀ったことに始まる。甲斐に流されていた、後陽成天皇の第8皇子・良純親王が、明暦元年(1655)から5年間この寺に仮寓した。親王の絵馬や硯などが残されている。

- 西八代郡市川三郷町上野199-1
- 055(272)1398
- 県指定天然記念物：オハツキイチョウ



こう しょう じ 光勝寺

承久2年(1220)、高野山金剛頂院の末寺として開かれた。後醍醐天皇の勅願寺で、武田一族の祈願所。徳川時代も歴代将軍から庇護を受け、当時の朱印箱が残る。本尊の千手観世音菩薩像は秘仏で、運慶の作といわれる。

- 西八代郡市川三郷町上野4308
- 055(272)0877



いちのみやあさまじんじゃ 一宮浅間神社

貞観7年(865)の富士山噴火の翌年に建立されたという。江戸時代には多くの末社があった。社宝の神獸鏡には四神四獣が描かれ、年が銘記された鏡では日本最古という。秋の祭典には神輿渡御が行われる。

- 西八代郡市川三郷町高田3696
- 重文：神獸鏡 県指定文化財：銅鏡



一宮浅間神社のツツジ
5月には一面濃いピンクに染まる境内。ツツジの名所として知られている。

ゆげじんじや
弓削神社

式内社の一つとされる。日本武尊が東征の帰り道、大伴武日(ゆきまへ)に勅部の称号を与え、武日はこの地に駐留し館を築いたという。地元の人々がその館跡に神社を建てた。本殿、拝殿、隨身門、鳥居は町指定の文化財。

■西八代郡市川三郷町市川大門6373



ならおうじんじや
奈良王神社

1300年前、女帝・孝謙天皇(奈良王)が湯治のためこの地を訪れ、8年ほど滞在したと伝えられ、その住居の跡に建てたのがこの神社という。地名の由来でもある。境内に奈良田七不思議の一つ御符水が残っている。

■南巨摩郡早川町奈良田479



さんおうじんじや
山王神社

県道沿い、西山発電所の向かい側にある。祭神は素盞鳴命。「湯島の大スギ」は神社入り口の石段南方、西に面した斜面に立っている。全国的にも屈指の巨樹で樹齢は1000年以上ともいわれている。

■南巨摩郡早川町湯島1048
■県指定天然記念物:湯島の大スギ
■駐車場無し

山王神社の参道



じかんじ
慈観寺

神亀5年(728)、行基が聖観音像を刻み安置したことに始まるという。その後、南明寺末となり栄えた。経堂には輪蔵に一切経六千巻が収められている。頭が人間、体が竜、岩の上でぐるを巻く珍しい像もある。

■南巨摩郡身延町道143
■0556(37)0155



ほうがいん
方外院

貞治元年(1362)に本栖湖畔に開かれたが、武田信玄の勧めで移転したという。本尊の如意輪観音像は、寺伝では行基の作とされる。本堂入口には、飢饉の際に豊作を祈って奉納された千匹絵馬の額が飾られている。

■南巨摩郡身延町瀬戸135
■0556(38)0040
■県指定文化財:木造如意輪観音坐像

👉 P108



だいしょうじ
大聖寺

長治2年(1105)、新羅三郎義光が開いたとされる。曾孫に当たる加賀美遠光が、京都で魔物を退散させた功により、高倉天皇から不動明王像と勅額を賜ったという。武田信玄像などを所蔵。

■南巨摩郡身延町八日市場539
■0556(42)2815
■重文:木造不動明王坐像 県指定文化財:絹本着色地藏菩薩十王図、絹本着色弘法大師捨身図 ほか1件



じょうたくじ
上澤寺

かつて真言宗の道場だったが、文永11年(1274)、時の住職法喜が日蓮の弟子となり、名を日受と改め改宗した。オハツキイチョウは、毒消銀杏ともいわれ、寺では古くから漢方薬として許可を得て販売している。

■南巨摩郡身延町下山279
■0556(62)5118
■国指定天然記念物:オハツキイチョウ

👉 P110



なんしょういん
南松院

武田家一門の穴山梅雪の母・葵庵理誠禅尼の菩提寺。境内には京都・退蔵院を模したという石庭がある。臨済宗妙心寺派の巨刹で、絵画や古文書など県指定文化財を多数保存している。

■南巨摩郡身延町下山3221
■県指定文化財:絹本着色穴山信友夫人像、絹本着色桃隠和尚像 ほか5件



ほんごくじ
本国寺


建治2年(1276)の開基。オハツキイチョウは日蓮手植えと伝承される。樹齢700年以上、高さ30m、幹周り6mの巨樹。寺宝の磬は孔雀文を施した鎌倉時代の優作。延元4年(1339)の銘がある。

■南巨摩郡身延町下山2271
■0556(62)5205
■国指定天然記念物:オハツキイチョウ 県指定文化財:磬




方外院の千匹絵馬

本堂入口に掛けられた縦2m、横20mもある「千匹絵馬」。稲の不作を嘆いて寺の観音様に祈願した老人が、「馬の霊が稲を食べる。一人一匹の馬を奉納せよ」という夢を見た。そこでこの絵馬を奉納すると、翌年から豊作になったという。

P107 



上澤寺のおハツキイチョウ
葉に実がつき、しかも枝が枝垂れる
という珍しいイチョウの木。

P107 

ご利益あり？ 珍しい木や花

おハツキイチョウ(サカサイチョウ)

上澤寺(身延町)

日蓮聖人の代わりに毒入りの餅を食べて死んだ白犬のために、上澤寺の境内に塚をつくった。日蓮は愛用の銀杏の杖を塚に立てて墓標としたが、その杖が根をはり枝を広げ、今の大樹になったという。枝が、支柱をしないと折れてしまうほど枝垂れるのは、日蓮が塚に杖を立てたとき、上下が逆だったからだともいわれる。

また、このイチョウは葉の表面に実がつくものでおハツキイチョウといわれ、さらにその実は犬の牙のように尖っているという大変珍しい木だ。

ヤツブサノウメ

洞雲寺(山梨市)

洞雲寺の「ヤツブサノウメ(八房の梅)」は座論梅ざろんばいとも呼ばれる。八房とは、1つの花に複数の梅の実が結実する様子を指す。また、大きくなるにつれて成長の遅れた実が落ち、最後は1つになることから、車座で法論を交わし、負けたものが座を立っていき最後は1人になる「座論」に例えた。



メオトウメ

甲斐國一宮浅間神社(笛吹市)

1つの花に2つの果実が実を結ぶことから夫婦ウメと名付けられた。





りゅう うん じ 龍雲寺

穴山信綱(梅雪の祖父)が享禄3年(1530)に菩提寺として創建。本尊十一面観音の体内には、1300年前の光明皇后のものといわれる襟掛と頭髮が収蔵されている。本堂はそびえるような大屋根を持つ。

- 南巨摩郡身延町下山4614
- 0556(62)5016



ほん みょう じ 本妙寺

国道52号線「みのぶゆばの里」あたりを西に入り車で5分ほど。応安5年(1372)創建と伝わる。境内のイチヨウもその頃に植えられたものか。「ゆばの里」では精進料理に欠かせないゆばを販売。

- 南巨摩郡身延町門野1079
- 0556(62)1438
- 県指定天然記念物:イチヨウ



わかみや はちまんじんじや 若宮八幡神社

文亀2年(1502)の勧請と伝えられる。手漉き和紙の里西島の総鎮守として崇敬されている。戦禍と富士川の氾濫に苦しむ人々の心を癒そうと400年前に始まった太々神楽「西島の神楽」を伝承している。

- 南巨摩郡身延町西嶋1534
- 0556(42)3884
- 県指定無形民俗文化財:西島の神楽



えん ぞう いん 円蔵院

武田一族の穴山信友が菩提寺として開いた。かつては寺と城砦を兼ねていて、裏山にはのろし台があったという。寺宝の信友画像は、穴山梅雪が亡父の姿を描かせたもの。山梨には珍しいジュンサイが繁茂する池がある。

- 南巨摩郡南部町南部7576
- 0556(64)2519
- 県指定文化財:絹本着色穴山信友画像、絹本着色仏涅槃図、円山応挙筆襖絵



ない せん じ 内船寺

日蓮排斥の鎌倉幕府にあって日蓮を慕いこの地に移り住んだ武士・四条金吾が興した。内側に20種の薬の調合が刻まれている高さ30cm足らずの半鐘があり、戦前までその薬を「半鐘薬」と名付け販売していた。

- 南巨摩郡南部町内船3599
- 0556(64)2219



さい おん じ 最恩寺

長久年間(1040~43)に開創、室町時代に京都妙心寺末となり、応永年間(1394~1428)に武田氏の寄進により伽藍が整備された。火難に焼失を免れた仏殿は、中国・宋時代の様式を伝える典型的な唐様式。

- 南巨摩郡南部町福土23502
- 0556(66)2528
- 重文:仏殿附厨子 県指定文化財:絹本着色穴山勝千代画像
- 駐車場無し



くま の だい じん じや 熊野大神社

下部温泉郷の中心にある。5月には松葉杖供養祭が行われている。1300年前、温泉療養に来た甲斐国主が霊夢に現れた熊野権現の指示を得て建立したという。本殿は穴山梅雪が再建した。

- 南巨摩郡身延町下部23
- 駐車場無し

ちよつとより道
1300年の伝統ある温泉街
下部温泉

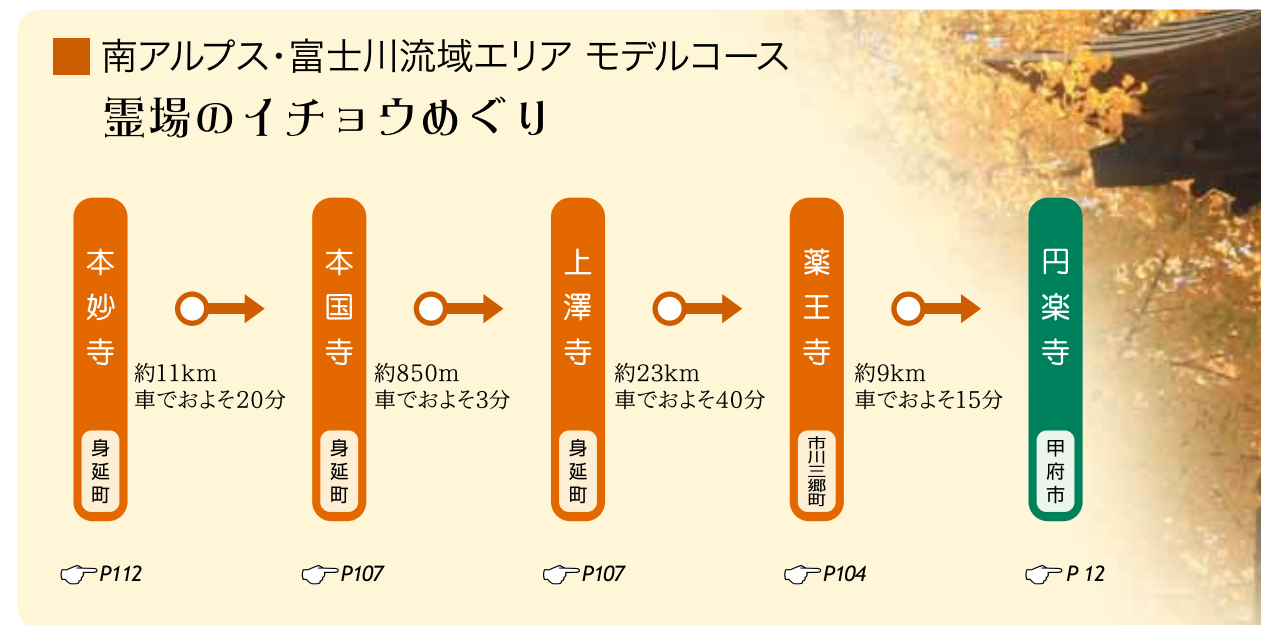
NPO法人みのぶ観光センター
南巨摩郡身延町切石192-2
☎0556(42)2005



いちのみや か も じん じや 一宮賀茂神社

天平勝宝年間(750頃)の草創と伝わる。西八代、南巨摩郡一帯の社頭として武田氏、穴山氏の厚い崇敬を受け、江戸幕府からも社領約2万5千坪の寄進を受けた。本殿の北にあたる境内林の榊の群生は県指定自然記念物。

- 南巨摩郡身延町下山2651
- 0556(62)5721
- 県指定自然記念物:サカキ林





身延山久遠寺

日蓮宗の総本山。門前町が三門まで続き、東谷・西谷には数々の宿坊がある。境内には本堂、祖師堂、仏殿、五重塔など大伽藍が広がり、本堂の地下には、国宝、重文などの寺宝を収めた宝物館がある。

- 南巨摩郡身延町身延3567
- 0556(62)1011
- 国宝：絹本着色夏景山水図 重文：絹本着色釈迦八相図 ほか書跡2件 県指定文化財：八幡神社本殿、相輪塔 ほか6件 県指定史跡：日蓮聖人草庵跡 県指定天然記念物：七面山の大トチノキ、身延山の千本杉
- 宝物館：一般300円、大・高200円、中・小学生100円

🗺️裏表紙 久遠寺五重塔

身延山周辺図



※登山の目安として、参道に丁目(位置)を示す石灯籠がある。

父母想う日蓮聖人

身延山ロープウェイで、久遠寺から山頂へ。奥之院思親閣は、日蓮聖人が遠く離れた両親を偲んだ霊場だ。日蓮聖人は貞応元年(1222)、安房の国小湊(千葉県鴨川市)に生まれ、12歳で出家して天台宗を学ぶが、仏法の神髄は法華経であると悟り、日蓮と名を改め法華経の布教を始めた。鎌倉幕府に受け入れられず、度重なる法難の後、身延山に籠もり弟子の育成に専念した。日蓮が身延に住んだのは9年間だが、その間、故郷を思い出しては草庵から道なき道を山頂まで登り、遙か房州小湊を望んで両親を追慕したという。



奥之院思親閣



■南巨摩郡身延町身延4217-1
■0556(45)2551 ■駐車場無し

七面山本社 敬慎院

しちめんさんほんしゃ

七面山は七面大明神を祀る山岳信仰の山であり、日蓮聖人の弟子たちによって開かれた霊場である。永仁5年(1297)、日朗上人が七面山に登り、七面大明神を祀ったのが七面山の開創である。羽衣の神力坊から山道を登り、いくつかの坊を経て敬慎院へ。そこから裏参道へ8丁ほど下ると奥之院に至る。七面山は女人禁制だったが、徳川家康の側室・お万の方が白糸の滝で身を清め登詣し、女性にもその道を開き、以来女人禁制は解かれた。2丁目の神力坊にはお万の方の木像が安置されている。参拝は片道4時間以上の登山なので、健脚の方におすすめ。



■南巨摩郡早川町角瀬
■0556(45)2125 ■駐車場無し

七面山 奥之院

しちめんさん おくの いん

南アルプス・富士川流域エリア

ちよつとより道

カラマツやブナの原生林も魅力
伊奈ヶ湖



ちよつとより道

参拝のお土産に
みのぶまんじゅう



初代市川團十郎にゆかり
ボタンが有名
歌舞伎文化公園



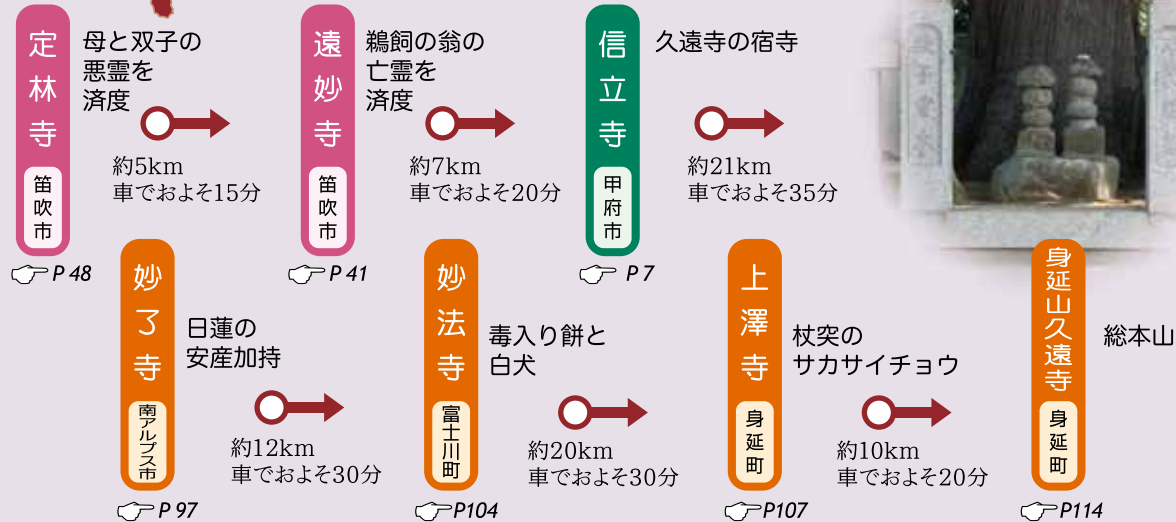
西八代都市川三郷町上野3158
☎055(272)5500

標高850mの山上湖
四尾連湖



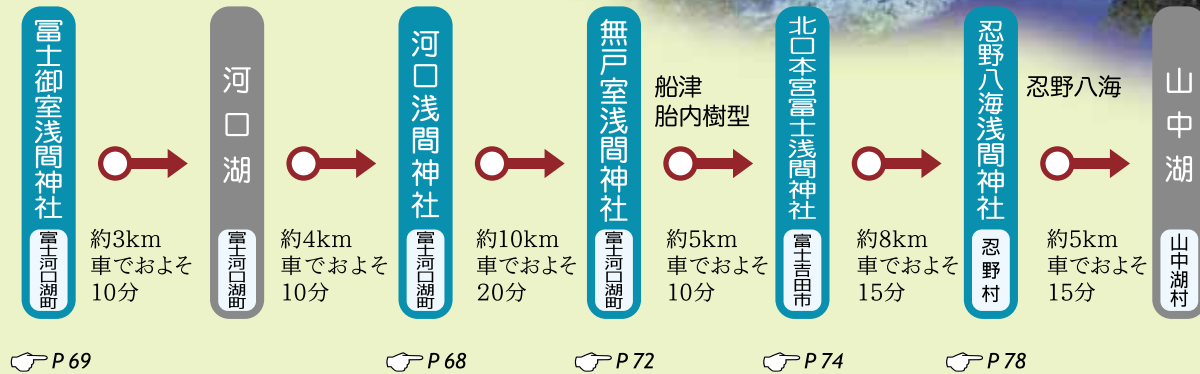
全
県
ワイド

日蓮聖人の伝説をめぐる



全
県
ワイド

世界遺産富士山 構成資産めぐり



神社・お寺のお参り方法

神社やお寺の境内は神聖な領域で、観光施設ではありません。マナーを守ってお参りしましょう。

ほとんどのお寺や神社では以下のことは禁止されています。

- 喫煙 ●飲酒 ●大声で騒ぐ
静かに参拝し、悠久の時間を感じましょう。
- 撮影禁止の場所での写真撮影
注意書きをよく見て、撮影禁止の場所では写真を撮らないようにしましょう。ストロボ撮影が禁止の場所もあります。また、自撮り棒を振り回すと危険ですので、やめましょう。
- 建物の中に勝手に入る
見学可能な建物以外は、原則として許可なく入れません。
- 遺跡や展示物にさわる
1000年以上の歴史を持つ建物や宝物がたくさんあります。むやみに触って壊したりしないようにしましょう。
- 予約を守らない
参拝などの予約を入れたら、必ず時間を守って訪れましょう。

<神社の参拝方法>

- 1) 神社に入る時は、鳥居の前で一礼してから入ります。
- 2) お参りの前に、手水舎で手と口をすすぎ、心身を清めます。

●手水舎の作法



何度も水を汲み直さず、一度に済ませるのがよいでしょう。



3) 拝殿に着いたら二拝二拍手一拝で参拝します。

●二拝二拍手一拝の作法



イラスト... 藤本結衣

鈴は身の穢れを祓い清め、神様の発動を願うものなので、忘れずに鳴らしましょう。鈴を鳴らすとお賽銭を納める手順は、どちらが先でもかまいません。

<お寺の参拝方法>

- 1) お寺に入る時は、山門の前で一礼し、手水舎で手と口をすすいで身を清めます(神社と同様)。
- 2) 本堂に入ったからお賽銭を納め鯛口を鳴らし、一礼をした後で胸の前で合掌しながら祈願をし、終わったら再度一礼をします。手を合わせることは、仏様と一体になることを意味しています。神社のように拍手は打ちません。

参拝の方法は、神社やお寺によって違う場合があります。

<御朱印について>

御朱印はお参りをした証しです。記念スタンプのようなものではありません。お寺や神社により金額が異なりますが、御朱印代が必要です。また、不在時や多忙時は避け、事前に連絡をしてから訪れましょう。



MEMO

月 日

月 日

月 日

月 日

月 日

月 日

さくいん

あ行

熱那神社	85	金井加里神社	40	慈照寺	19	長安寺	66	穂見神社	94
穴切大神社	14	金櫻神社	13	倭文神社	91	長谷寺	97	本国寺	107
石和八幡宮	49	河口浅間神社	68	実相寺	81	長生寺	64	本妙寺	112
一宮浅間神社(市川三郷町)	105	願成寺	88	下教来石諏訪神社	81	筒口神社	69	ま行	
一宮賀茂神社	112	菅田天神社	39	寿徳寺	78	天津司神社	18	魔王天神社	72
一宮神社(上野原市)	57	神部神社(甲州市)	40	聖応寺	48	伝嗣院	97	万福寺	31
一蓮寺	12	神部神社(北社市)	84	長遠寺	97	洞雲寺	30	満福寺	90
稲積神社	17	北口本宮富士浅間神社	74	称願寺	48	東圓寺	78	三嶋神社	59
牛倉神社	57	北野天神社	81	常光寺	90	東光寺	7	身延山久遠寺	114
内野浅間神社	78	吉祥寺	30	常説寺	18	な行		明王寺	98
無戸室浅間神社	72	熊野神社(笛吹市)	49	上澤寺	107	内船寺	113	妙法寺	104
宇波刀神社	85	熊野神社(甲州市)	40	承天寺	78	長作観音堂	57	妙了寺	97
表門神社	105	熊野大神社	112	昌福寺	99	那賀都神社	30	美和神社	49
雲峰寺	30	敬慎院	114	定林寺	48	中牧神社	30	や行	
永源寺	19	景德院	39	深向院	98	奈良王神社	106	箭弓神社	57
永昌院	26	月江寺	72	真蔵院	58	南松院	107	薬王寺	104
永泰寺	12	広教寺	64	信立寺	7	南明寺	98	柳町大神宮	17
江原浅間神社	98	広蔵院	43	住吉神社	17	根古屋神社	85	山縣神社	19
恵林寺	31	広濟寺	48	諏訪神社(中央市)	22	能成寺	7	山中諏訪神社	78
円光院	8	光照寺	19	諏訪神社(甲州市)	41	は行		山梨岡神社	50
円蔵院	113	光勝寺	104	諏訪神社(富士河口湖町)	69	白山神社	69	瑜伽寺	48
塩澤寺	6	高龍寺	81	諏訪神社上社	98	八幡神社	72	弓削神社	106
円通院	64	国分寺	41	栖雲寺	39	比枝神社	49	横近習大神宮	17
円通寺	69	古長禅寺	96	清光寺	80	比志神社	85	義清神社	22
円楽寺	12	金刀比羅神社	84	清泰寺	80	氷室神社	104	ら行	
生出神社	66	さ行		清白寺	28	富士御室浅間神社	69	羅漢寺	18
大井俣窪八幡神社	28	最恩寺	113	積翠寺	6	藤武神社	91	立正寺	39
奥之院	114	最勝寺	104	千松院	12	福光園寺	48	龍雲寺	112
忍野八海浅間神社	78	西念寺	73	た行		逸見神社	84	蓮華寺	69
小室浅間神社	73	西方寺	72	大公寺	91	法雲寺	57	わ行	
遠光寺	12	西涼寺	64	大聖寺	107	方外院	107	若宮八幡宮	94
遠妙寺	41	酒折宮	15	大泉寺	7	宝鏡寺	64	若宮八幡神社	112
か行		佐久神社	14	大善寺	39	放光寺	31	若宮八幡大神社	85
海岸寺	80	山王神社	106	大蔵経寺	41	宝寿院	99		
甲斐國一宮浅間神社	49	三光寺	39	大福寺	22	宝珠寺	97		
甲斐善光寺	4	三社神社	19	高尾穂見神社	98	法泉寺	6		
甲斐奈神社	14	慈雲寺	36	武田神社	17	法善寺	97		
花井寺	59	慈観寺	107	武田八幡宮	94	保福寺	56		
		慈眼寺	41	玉諸神社	17				

必ずお読みください ※お寺や神社の境内は神聖な領域ですのでマナーを守って訪れましょう。

※当ガイドブックに掲載されている内容には、複数の説があるもの、史実として明らかになっていないものなどが含まれます。

※掲載されている情報は2015年12月現在のものです。拝観料などの各種データが変更になったり、不在の場合などで利用等できない場合があります。あらかじめご確認ください。

※仏像・神像・一部建物は通常は公開されていないものもあります。事前に

ご確認ください。

※掲載写真は実物と異なる場合があります。また、天候、気象条件等により記事・写真のような景色が見られない場合があります。

※掲載の各コースの所要時間、距離はおおよそのものです。

※ガイドブックに掲載された内容により生じたトラブルや損害については、(公社)やまなし観光推進機構では補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。